

優秀賞

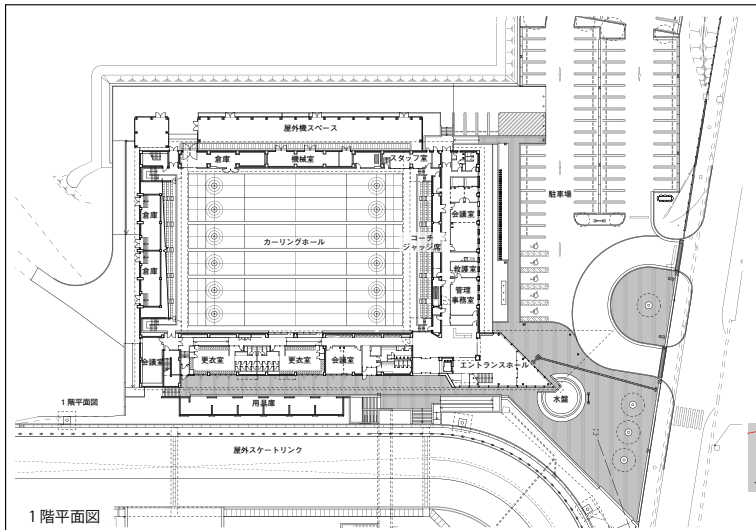
生活施設
(関東地区)

軽井沢アイスパーク



ふれあいホール

屋外リンク側外観



所在地 長野県北佐久郡軽井沢町発地 1154-1
軽井沢風越公園内

| | |
|------------------------|--------------------|
| 敷地面積 (m ²) | 67,931.42 |
| 建築面積 (m ²) | 4,247.76 |
| 延床面積 (m ²) | 5,069.47 |
| 構造/階数 | SRC造、一部S造/地上2 |
| 事業者 | 軽井沢町 |
| 設計者 | (株) 山下設計 |
| 施工者 | 守谷・丸山特定建設工事 JV |
| 竣工年月 | 2013 (平成 25) 年 3 月 |
| 総工事費 | 1,983 百万円 |



オリンピックで会場になった軽井沢

軽井沢は、東京五輪の馬術会場、長野五輪のカーリング会場と、夏・冬五輪を開催しています。

地域の特性を生かした冬季スポーツ競技人口の確保、普及強化、観光振興に資する公園の一部として、日本最大級の通年型カーリングホールが平成25年に完成しました。

軽井沢アイスパークでは毎年、国際大会が開催され、平昌五輪では、ホームリンクとする男子日本代表が8位入賞。また、3カ国が事前合宿にも訪れました。ナショナルトレーニングセンターの指定も受けています。

世界品質のアイスを保ちながら競技者を育てる一方、観光客や未経験者向けにカーリング体験を開催したり、首都圏の小学校の移動教室で体験してもらうなど、利用率を上げる工夫をしており、利用人数は年々増えています。

今後も多くの町民や利用者に親しまれる施設にしていきたいと考えています。
(市村充・軽井沢アイスパーク 施設長)

本施設は、軽井沢町のスポーツ施設が集約されたエリア内に建設された屋外スケートリンクおよび屋内カーリング場である。地域のアイス競技文化の継承、特にまだマイナー競技であるカーリングの普及が目指されたものである。全国的に施設数が限られる中で、国際レベルの高い競技環境を確保するとともに、日常的に町民がカーリングの魅力に触れられる施設が整備され、その結果として、町内の競技人口の増加、さらにここを本拠とするチームの冬季オリンピック出場へとつながっている。

建築的にも、緩やかなアーチ状の屋根により自然豊かな風景に馴染ませていること、積雪地であることを考慮した落雪対策、競技に求められるデリケートな温熱・水環境の実現など、内外の設計条件に丁寧な対応がなされている。

さまざまな意味で地域に根付いた建築であり、地域の誇りを醸成する施設となっている。高いレベルで公共性が発揮されている施設である。